

職員の皆さんへ

お詫びと反省メッセージ

先日、3月9日の市議会一般質問の休憩中、議員控室で、本市の幹部職員に対し、私より、強く声を荒げて詰問する事態がありました。

これは、職員と市長という大きな職務上の地位関係を前提とすれば、その行為が咄嗟・一時的なものだとしても、威圧的な行為であり、許されるものではありません。

私として、今回の行為について、当該幹部職員には直接お詫びさせていただいたところですが、改めて心からお詫びし、深く反省を申し上げます。

本市として、令和2年7月に「京丹後市職員のハラスメントの防止等に関する規程」を制定・施行しています。本規定の趣旨内容は普遍的なものであり本規程のあるなしにかかわらず、市長自ら、率先してハラスメントの防止にあたるべきであることはいうまでもありません。そればかりか、昨年の市長選挙に先立つ時期の政策集において、私自ら、以前の市長時代に「時には声を荒げてしまうこと」について反省を誓っていたことにかえりみても、今回の行為は、決してあってはならない行為であり、忸怩たる思いで一杯です。

一年を振り返り、改めて、自らパワーハラスメントはじめハラスメントに当たる行為がなかったか、この機会にしっかりと顧みますとともに、今後とも、本市の全ての職員それぞれの尊厳が守られ、のびやかでハラスメントのない快適な職場環境の実現に、職員の皆さんと思いを共に、全力で取り組んでまいります。

以上、心からの反省と誓いをこめて、メッセージとさせていただきます。

令和3年3月
京丹後市長 中山 泰